



春日井ロータリークラブ

2023-24

Rotary
Club of KASUGAI



世界に希望を生み出そう

クラブテーマ

「CHALLENGE FOR CHANGE」

会 長：古屋 義夫 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 副 会 長：加藤久仁明 T E L：0568-81-8498
 副 会 長：野浪 正毅 F A X：0568-82-0265
 幹 事：速水 敬志 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
 会報委員長：岡本 博貴 H P：https://www.kasugai-rc.org/
 例会場：ホテルプラザ勝川



2023年12月15日(金) 2575回(12月第3例会)

本日のプログラム

司会 会場委員会

- ・点鐘 会長 古屋 義夫君
- ・ROTARY SONG 「我等の生業」
- ・今月の歌 「クリスマス・イブ」
- ・ビジター紹介 会長 古屋 義夫君
- ・委員会報告
- ・クリスマス家族会
- ・幹事報告 幹事 速水 敬志君
- ・点鐘 会長 古屋 義夫君

今月の歌

「クリスマス・イブ」
 雨は夜更け過ぎに
 雪へと変わるだろう
 Silent night, Holy night
 きっと君は来ない
 ひとりきりのクリスマス・イブ
 Silent night, Holy night

例会予定	12月22日(金)	12月29日(金)	1月5日(金)	1月12日(金)
	休会	休会	休会	11:15~第7回理事会 12:30~例会 祝福 卓話 北 健司君 松尾 隆徳君

先週の記録

会長挨拶

会長 古屋 義夫君

皆さま、こんにちは。今日は11/25の記念講演について少しお話をしたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今回と例年との違いは積極的な動員活動にこそ最大の特徴があると思います。簡単に申し上げると創立55周年実行委員会では効率よく観客動員をするために手間をかけずに実績が上がるようないろいろな仕掛けを考えて実行しました…今回はそこにフォーカスしてお話をしたいと思います。

結論から申し上げれば考えていたより、楽に集めることが解ったということです(笑)

まず市との共催事業とし、春日井市を巻き込むことから始まりました。これは市の広報等の媒体を、効果的に利用でき市役所等に春日井ロータリークラブの告知物を掲示でき告知資料を置かせていただけるからです。

しかし想像するより共催のハードルは高く、どうやら観客動員について春日井ロータリークラブは春日井市から大きな懸念を抱かれていたようです。

それゆえに今回の55周年の記念講演事業を、収容人数が198名の春日井文化フォーラムでやらどうかと市の担当者に言われてしまい非常に悔しい思いをいたしました。

しかし何とか市と折衝し市民会館を確保いたしました。市民会館のMAXキャパシティは1022名です。大見栄を切った以上、実績を必ず作る必要があります。精神的には大変でしたが今となってはその緊張感が我々ロータリーには必要だったような気がしています。

下記の如くいろいろと考えつき全て実行いたしました。

- ① 単独事業の観客動員のためにはそのような、前例はないとお話でしたが、どんなことにも初めてはあると交渉をして、国際ロータリー2760地区ロータリーメンバー総勢4700名、すべてのメンバーにEメールにてポスター画像と案内文でしっかりと告知をさせていただきました。
- ② 春日井RC、公共イメージ委員長である岡本君にご依頼をし、国際ロータリー2760地区の運営しているサイトに、55周年の記念講演の告知をしっかりといただきました。
- ③ 国際ロータリー2760地区のポリオプラスの委員長に交渉をして異例ではあったようですが地区の委員会に出席をさせていただき国際ロータリー2760地区のポリオプラスのメンバーの皆様が各分区でポリオプラスの告知をされるとき我々の55周年記念講演の資料を紹介そして配布して下さるようお願いし我儘を聞いていただける事になりました。

- ④ ポリオのご講演をいただいた、ロータリーインターナショナルの松本先生は、日本国内でよい講演者がみつからず困りに困って結果的にはアメリカ国イリノイ州のロータリー本部に稚拙な英語で長々と問合せをしてご紹介いただいた日本のポリオの第一人者です。

後で知り大変驚愕しましたが、なんと国際ロータリーの会長代理を2023-24(今年度)含め3度も経験されておりまさにスーパーロータリアンと呼べる方でした。

ご縁とは言えそのような素晴らしい方と知り合えたことは非常に幸運でした。

- ⑤ また春日井地区のライオンズクラブの例会等に訪問をさせていただき春日井ロータリークラブの創立55周年の告知と国際ロータリーが推進しているセレブレートコミュニティの話をしていただきロータリークラブのアピールに廻りました。

そして当日は多数のライオンズのメンバーにご来訪いただきました。

- ⑥ 勝川商店街にロータリー事業告知のため、掲示できる場所全てに、55周年の告知ポスターを小柳出委員長の多大なるご尽力を頂き告知そして掲載していただきました。

- ⑦ 中日新聞さま春日井ケーブルTVさまについては事前告知をしっかりと行ってくださいました。とくに春日井ケーブルTVさんは30秒程度の告知を1日7回×8日間つまり合計56回も春日井ロータリーの告知をってくださいました。これは前例のない驚異的な事ではないでしょうか？

もちろん次年度以降にも繋がるようにしっかりとご挨拶に行く予定でおります。

- ⑧ メンバーでもある第一生命さんとは2023年6月から何度か打ち合わせをしており55周年記念事業の集客のため奔走いただきました。また11/25当日は血管年齢測定健康イベントも開催していただき集客にご尽力いただきました。

- ⑨ JCの皆さんにも集客のため当日、沢山の皆様にご協力いただきました。

- ⑩ 春日井市民病院ではポスター掲示の告知をしていただきかなりの数の市民より問い合わせが病院にもあったようです。

そしてまた春日井市民病院長である成瀬先生からは市民病院の取り組みや活動を市民に伝えることができる貴重な機会であり大変有難いと積極的なコメントをいただいています。今回は総動員数600名弱くらいに留まりましたが次回は更にいろいろな仕掛けを考え実行し春日井ロータリークラブのメンバーが一丸となれば、市民会館のMAXキャパシティである1022名は満員御礼できることを確信しています。

今回の55周年記念講演の体験からも春日井ロータリークラブの社会的な認知そして公共イメージ向上を目指して日々活動し続けていくことが絶対に必要だと感じております。

そして当然ではありますがどんな事にも、ネガティブ、弱気、否定から入るのではなく、ポジティブに考えそして実行することが必要不可欠であると感じています。

まさに今回は”challenge for change”（変革のための挑戦）となりました。

そしてメンバーの皆様におかれましては、春日井ロータリークラブのため、地域のため、多大なるご尽力を頂戴し誠にありがとうございました。ロータリーの友情に深く感謝をさせていただきます。以上で会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告 幹事 速水 敬志君

2023年12月8日（金）第2574回 12月第2例会の幹事報告をさせていただきます。

先ずは姉妹都市ケローナ山火事による災害義援金に募金頂きましてありがとうございます。クラブより振り込ませて頂きます。

さて地区RYLAへ出向されている大橋くん素晴らしい活動活躍ですね。また随時報告をお願いします。

次週予告です。

次週15日はお楽しみイベント、クリスマス家族会です。皆さん奮ってご参加ください。まだまだ協賛品も募集していますのでこちらもよろしく願います。22日29日は休会です。

以上、幹事報告でした。

出席報告 委員長 長谷川久幸君

会員	52名	出席 31名	出席率 59.2%
先々週の修正出席		出欠 50名	出席率 96.1%

ニコボックス報告 委員長 長谷川久幸君

○かつてホストファミリーをやった頂古屋 義夫君
きました岡山様に感謝のドネーションを頂戴いたしました。

コメントは別紙にて。

大橋くん卓話楽しみにしています

○大橋君のたくわを聴ける喜びで！！ 速水 敬志君

○門松の早速の注文ありがとうございます 小川 長君
ます。立派なものを納品いたします

○本日は、地区ライラ委員会の卓話を 大橋 省吾君
させていただきます。よろしく願致します。

○今日は開戦記念日。平和に感謝。 青山 博徳君

○場々先生にお世話になりました 山田 治君

○昨日の藤川委員長のメーキャップセ 岩村 幸正君
ミナーは大変勉強になりました。ありがとうございます。

○大橋君、お勤めご苦労様です。 和田 了司君

○卓話楽しみにしています

朽本 正樹君	北 健司君	清水 勲君
加藤 茂君	三上 努君	鈴木 克幸君
風岡 明憲君	近藤 太門君	松尾 隆徳君
大原 泰昭君	久米 正俊君	大西 信之君
宅間 秀順君	野浪 正毅君	筒井 康広君
下別府正樹君	野間 峰彦君	成瀬 浩康君
加藤久仁明君	長谷川久幸君	菱川 一馬君
廣田 誠君	小柳出和文君	

○ご協力ありがとうございます。

出席・ニコボックス委員会

卓話 第2760地区RYLA委員 大橋 省吾君

皆様、こんにちは。

本日は例会での卓話をさせて頂ける時間を頂きそしてRYLA委員会にご協力頂き有難うございます。私は本年度地区RYLA委員会に出向しております大橋省吾です。

本年度より地区RYLA委員会ではRYLAのこともっと知ってもらおうと、ご希望を頂いたクラブ様へ伺って卓話をさせて頂いております。2760地区では85クラブ中50クラブ程が必要なし20クラブ弱が未回答というような状況で14クラブにこのような機会を頂いて居ります。本日は有難うございます。お聞き苦しい所もあるかとは思いますが最後までどうぞ宜しくお願い致します。

先ずは、RYLAとは何かについてお話しします。皆様ご存じだとは思いますが、ロータリーの5大奉仕の中に「青少年奉仕」があり、青少年奉仕とは「インターアクト」、「ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）」、「ローターアクト」、「ロータリー青少年交換」などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援させて頂いております。

それではRYLAというこの言葉、皆様は何の略か分かりますでしょうか。私も最初何なのか分かりませんでした。これはロータリー ユース リーダーシップ アワーズの略で、ロータリー青少年指導者養成プログラムのことを指します。

そしてRYLAとは何かと言いますと、受講生がリーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい・・・ちょっと大げさですが、そういうきっかけになればと思っております。14歳～30歳の若い世代を対象とした短期集中型のリーダーシップ育成プログラムで、受講生が新しいスキルを学びながら、地域社会と関わり、個人的・職業的に成長できる機会を与える場となっております。

RYLAプログラムの目的とは

これはロータリアンに対してですが、若者のリーダーシップスキルを磨き、地域に貢献している若者を表彰すること。

若者の心に生涯にわたる奉仕の精神を育み、ロータリーを通じた奉仕の機会へと導くこと。

若者のリーダーシップ育成を支援することにより、ロータリーの青少年奉仕を実践することです。要は若者にリーダーシップ研修を通して奉仕の心を育ませるといことです。

そして RYLA でできること

受講生にとっては、地元で活躍する人や豊かな経験を持つ人たちと一緒にコミュニケーションや問題解決のスキルを磨くことが出来ると共に、学校や地元地域で活躍できるリーダーとなる方法を発見することができます。

また、地元を動かすリーダーによる指導、意欲を高める講演、仲間との交流を通じた学び、自分の可能性を発見し、行動へとつなげることで、そして楽しみながら生涯続く友情を培うことができます。

RYAL 委員会の役割

結論から申しますと RYLA 委員会は「若い方々に考える環境を提供すること」であります。RYLA 委員会メンバーはカウンセラーとしてヤングカウンセラー (RYLA 学友会後で説明しますが) と共にセミナーを進めますが、受講生に対して決して私たちの考えを押し付けたり、結論を導き出すことはしません。受講生自身が答えを見付けることがこのセミナーの素晴らしさでもあります。

では我々、ロータリアンは何ができるのでしょうか。それは「何ものをも求めず、ひたすら未来のために種を蒔くこと」であります。RYLA セミナーで蒔いた種が若者たちの心に、いつか芽生えるかもしれない。我々は例え芽が出なくても、結果を求めず、ただひたすらに種を蒔き続け、そして未来に夢を託すことが大切だと思っております。

ここまで小難しい話をしてきましたが、ここで少し動画を観てもらいましょう。昨年開催されました RYLA セミナーの様子をダイジェストにしたものです。まずはセミナーの雰囲気を感じて貰えればと思います。それではどうぞご覧ください。

とても楽しそうな受講生達の姿が見られたと思いますが、昨年度の第 31 回のセミナーですが、コロナ感染者数は相変わらず上がったり下がったりしていましたが、開催の 1 週間前には屋内、屋外問わずマスクの着用は個人の判断に委ねるといことにもなり、ようやく社会の進むべき方向が見えてきたように感じていました。

セミナー 1 としてフルオンラインで開催し、その 2 週間後にセミナー 2 として対面でキャンプ場にて開催をする構成でした。このセミナーでは受講生に失われた 3 年間の閉塞感を打破して欲しいという想いがあり、大声で笑ったり歌ったりできるプログラムを盛り込みました。

ただしコロナ感染者数が突如、上がることも考えてセミナーを 2 つに分けて開催中止にならないようリスクを回避する安全策もちゃんと用意しました。

セミナー 1 では各分科会に分かれて受講生の皆様が自己紹介、自分の夢を仲間に話したり、テーマである「夢を咲かそう！」を考えてみたりする時間とし、セミナー 2 はキャンプ場にてその施設ならではのアウトドアを体験しながらチームワークを学んでもらいました。当日、あいにくの雨でしたが、全天候型の施設でしたので予定を変更せずに開催できました。

結果的にこの方法が様々なことを考慮しても近年の RYLA セミナーとしては一番良い流れだと思われました。新たなスタンダードになると実感しています。

それではここで我々 RYLA 委員会と共にセミナーの設営をしてくれています RYLA 学友会をご紹介します。

RYLA 学友会とは RYLA セミナーを受講した 18 歳～40 歳の学生、社会人からなる組織です。インター、ローターアクト、青少年交換出身のメンバーも多数在籍し、最近ではロータリアンとしても活動しているメンバーもいます。彼らは組織の活動目的、方針、予算を定め、RYLA セミナーだけでなく地区大会をはじめロータリーにおける青少年奉仕の様々な事業に出席しております。WFF にも毎年、RYLA 委員会と一緒にブースを出して、子供向けの工作など楽しくふれあう機会を提供しております。

6 年位前からホストクラブ制度が無くなった今、セミナーを開催するにあたり、彼ら無しではありえないくらい頼もしいパートナーです。

RYLA 委員会の役割

これは受講生、RYLA 学友会へ向けてです。セミナーの設営・運営はもちろんですが、

まず一つ目は「価値観の多様性、視野を広げることの大切さを伝える」学校の勉強では $1+1=2$ ですが、社会にでるとそうじゃないよと。答えはたくさんあるよと。

二つ目は「大人として扱い決断と行動には責任が伴うことを教える」

三つ目は「あきらめない心の大切さを伝える」これはセミナーで受講生には言っていますし、RYLA 学友会にも企画時とかに毎回、言っています。

そして四つ目は「未来のロータリアンを育てる」こんな素晴らしいことを教えてくれる大人の我々が愛して止まない組織に君たちも将来、入らないか？と未来のロータリアンを育てることだと私は思います。

私の考える RYLA 委員会で得られること

こちらはロータリアンに向けてですが、高いスキルを持った RYLA 学友会メンバーとの交流により、若者の新鮮な視点や考え方をリアルタイムに知ることができ、家庭、会社、ロータリー活動で

も役立てることができる。もう本当、これに尽きます。

それでは最後に告知をさせていただきます。本年度開催を致します第32回地区RYLAセミナーは昨年と同様、2回に分けておこないます。

まずはセミナー1を2023年3月16日(日)フルオンラインにて開催します。

そしてセミナー2を2023年3月25日～26日(土・日)豊田市総合野外センターにて行います。

今回のテーマは「己を知り、夢を語ろう」～自分の未来は変えられる～です。

昨年同様、とセミナー1で徹底的に議論をし、セミナー2で徹底的に体を動かす内容になると思います。

画面にあります、自分を知り、夢(目標)を掲げよう。そして今の自分から夢までの距離を知り、夢を叶えるための計画を立て夢を語り、自分の将来を良い方向に変えていって欲しい。参加人数にも依りますが1分科会10～20人程度で5分科会を予定して居ります。分科会は年代別に分けて行います。高校生が3分科会と大学生・社会人が2分科会です。セミナー1ではZOOMでのオンラインセミナーですが、約5時間程度行います。セミナー2では豊田市総合屋外センターにおいて1泊2日でテーマに沿った基調講演を観てテーマについて話し合ってもらいます。

また基調講演も従来のように誰かの話を聞くのではなく、今回は言葉ではなく、感じてもらいながらテーマを理解して貰うために演劇の公演を受講生と同じ世代であります瀬戸市にあります聖霊高等学校演劇部にテーマに沿ったオリジナルの演劇を制作してもらいます。

最後に成果発表を10分間してもらいます。只今参加者を募集しておりますので、是非ともお子さん、お孫さん、会社の従業員さんなど受講生のお誘い、ご申し込みをお待ちしております。

長々とお話しをさせていただきましたが、今後とも地区RYLA委員会にご協力の程宜しくお願い致します。ご清聴ありがとうございました。



点鐘 会長 古屋 義夫君



委員会報告
出席・ニコボックス委員会 鈴木貴之君



委員会報告
幹事 速水 敬志君



会長挨拶 古屋 義夫君



次年度職業奉仕委員長 野間 峰彦君



卓話 大橋 省吾君



次年度ロータリー財団委員長 風岡 明憲君



次年度副会長 北 健司君



幹事報告 幹事 速水 敬志君

